

大狩部生活センター

(大狩部地区)

『危険空き家の取り壊しの補助について』

質問 町内に古くて危険な空き家が見受けられるが、取り壊す際にかかる費用に対する補助金はあ

るのか。

回答 平成30年度から危険な空き家を取り壊す際の補助金を町独自で制度化している。

負担額の2分の1の補助となり、限度額については、50万円となっている。

危険だと思いう空き家の持ち主に会う機会があれば、町で補助制度があることを周知していただき、共に不安解消に向けて取り組んでいければと考えている。

『厚賀インター開通に伴う』

交通量の増について』

質問 厚賀インターが開通し、交通量が増え、不法投棄がかなり多かつたが、カメラを設置してもらったおかげで減った。しかし、台数が少ないので、台数を増やしてほしい。

また、スピードを出す車が多

いので、「速度の取締強化区間」という看板も立ててほしい。

回答 カメラを10月に設置し、それ以降かなりゴミの量が減っている。台数を増やしてほしいということだが、少し様子を見させてほしい。ゴミの不法投棄については、今後も地区の方と相談しながら改善に向けて努力していく。

速度の取り締まりの看板は、公安委員会・警察とも協議しなければ立てられないので、今後も継続して協議したいと考えている。



町道大狩部本郷井端線に不法投棄対策で設置されたカメラ

るといような中で、ピーマンや畑作は成果は上がっているようだが、まだ経験が浅くて経営が心配される面がある。

町で500万円の補助を出して新規就農支援をしているが、もう少し安定した経営が出来るような方法を考えてほしい。

回答 新規就農対策については、農協だけではなく町と普及センターも一緒にチームになり、巡回指導なども行っている。まだ経験が浅くて心配される面が多々あると思うが、これらチームで新規就農者をなるべく定着できるように支援していきたいと考えている。

また、国の方でも新規就農者の定着を図るため、年間150万円の支援金を5年間という制度もあるので、これらも活用しながら、定着に向けて指導体制をとっていききたい。

『ふるさと納税について』

要望 当町のふるさと納税について改善の余地があるのではない

かと思う。

返礼の例として、種付けの権利など馬産地でしか出来ないような返礼をしたら良いと思う。

また、競馬ファンの方もた

さんこの町に来ると思うので、返礼の一つとして、有名な馬と間近で会えるツアーに参加できるなど、色々選択肢が持てるのではないかと思う。

回答 ご指摘のとおり、ふるさと納税を増やしたいと思っております。いただいたご提言を踏まえながら取り組んでいきたい。

ただ、馬となると相当高価で貴重なものなので、その辺も加味しながら参考にさせていただきます。

泉生活館

(泉・岩清水・若園・新栄地区)

『ハザードマップについて』

質問 現ハザードマップは古いので、新しいハザードマップの作成の予定はあるのか。

回答 現在、北海道による河川などに係る調査結果を待って、ハザードマップの改定を計画している所であるが、国内における度重なる豪雨により想定基準の変更などから遅延の実態にある。町民の皆さんの大規模災害への不安もあることから、早急

に改定ができるよう、財源も含めて関係機関と調整しているところである。

本町多目的交流センター

(本町・中央町地区)

『本町多目的交流センターについて』

要望 建設後、約60年が経過する本町多目的交流センターは、本町地区の避難所となっているが、身障者に対応していないことや避難所としての整備がされていないため、改善をお願いしたい。

回答 町全体の公共施設の関係から具体的な個別計画を策定する上で、優先順位も踏まえながら町財政の状況も含め検討していきま



建築後約60年が経過し改修要望のあった『本町多目的交流センター』



今後見直しが検討される『津波ハザードマップ』

レ・コード館 (北星町・東町・夕日ヶ丘) (レ・コードの森地区)

『河川氾濫時の防災体制について』

質問 市街地には新冠川に接続する小河川が数本存在し、その排水口に樋門が設置されているが、大雨の際、新冠川本流の水位上昇により、逆流防止のため当然樋門は閉鎖されるが、その際の氾濫防止のための防災体制などはどうなっているのか。

回答 市街地における低地帯の浸水対策については、台風などの大雨の対策を協議する際の優先事項として、樋門の閉鎖、水中ポンプの設置などを準備し、状況に応じて職員を配置のうえ、水位の上昇を監視する体制を取っている。

万世生活館

(万世・明和・大富地区)

『ヒグマ対策について』

要望 年々熊の出没や目撃情報が多くなっており、自治会員からの通報などで、役場に電話をしたが、迅速で納得のいく対応をとってもらえなかった。

次回からは納得のいく対応をお願いしたい。

回答 熊出没の連絡が入る都度、ハンターをお願いしながら巡回にも行くが、なかなか捕獲まで至らなかったのが現状です。有効な罠の仕掛け場所なども地主の方と協議した矢先に、小熊1頭だけが罠にかかり捕獲できた状況にはあったが、その後、情報がなくなりました。

今後に向け、検討していた場所も含め、箱罠の設置に迅速に対応していく。

朝日農村環境改善センター

(朝日・高江地区)

『新規就農対策について』

要望 新規就農対策について、農協と連携して行っていくかなければならないことだが、新規就農者が2年の研修を受けて就農す

太陽開拓婦人ホーム

(太陽・美宇地区)

『親元就農奨励金について』

要望 親元就農奨励金について詳しく教えてほしい。

回答 平成30年度からこの制度を開設しており、親元就農を目的に帰って来た方が、就農されていることを青色申告で確認できれば、1年あたり50万円、それを2年間ということで、最大100万円を交付している。

泊津生活館

(西泊津・東泊津地区)

『にいかつぷホロシリ乗馬クラブ』 要望 西泊津に移転するホロシリ乗馬クラブでは、観光施設としてだけでなく、指導者も優秀な人材が揃っているため、乗馬の全道・全国規模の大会を開催できる施設にしてほしい。

回答 当クラブの中でも全道・全国大会規模の大会が出来るような施設にしたいという話はしており、土地を見ていただければわかるように、十分な広さもあるので、実現できるかわからないが、皆さんの知恵をお借りしながら協議・検討していく。